

いのち
生命の水 うるおす未来

アジアネット

JAFS

NEWS & REPORTS 2023年春

153

特集 第2回 JAFS
「水」写真コンテスト



● 主な目次 ●

「巻頭言」貧しくも明るい子らに惹かれて	02
特集=第2回JAFS「水」写真コンテスト	
	04・05
コーヒー豆をネパールの特産に	06・07
災害に強いネパール作ろう	07
ウクライナの病院再建に奔走	08
フィリピンの台風 復興支援報告	09
「学びたい」フィリピンの子どもたち	10
パキスタン授業に興味津々	10
「JAFSのセミナーから」内モンゴル光と影	11
「井戸ができた村」	12~17
走ってチャリティ 大阪マラソン	18
「JAFSプラザ」=国内の活動	19~21
生きる喜びと平和を願いアジ・フェス7年	
目／遠慮なく話し合う「アジアの仲間」の会	
始めました／楠木正成に思いはせ 雪の金剛山に行く 他	
イベントカレンダー-2023年春	22・23
新入会員紹介・領収報告	24・25
「活躍するアジア人」	26
「環境コラム」	27

アジア協会アジア友の会とは

アジアに井戸を贈ることから地域の自立を目指す国際協力NGOです。1972年に大阪の若者により結成された国際奉仕グループ「エポス・クラブ」が発展し、1979年に大阪で設立。誰もが生まれてきて良かったと思える社会を目指し、2022年3月現在、井戸建設（累計2211基）や植林（累計258万本）、子ども教育支援を中心に活動しています。全国都道府県認可の社団法人取得第1号です。2012年から、内閣府の認定を受けた公益社団法人になりました。

海外との交流・協力活動は、アジア18カ国（インド、インドネシア、バングラデシュ、タイ、マレーシア、フィリピン、スリランカ、ネパール、韓国、カンボジア、シンガポール、ミャンマー、ラオス、中国、ベトナム、モンゴル、パキスタン、アフガニスタン）、さらに西アフリカのブルキナファソにも広がり、70の現地提携団体を通じ、友情のネットワークが形成されています。

日本国内でも、各地でチャリティプログラム、自然環境プログラムや、人材育成、留学生交流など行っています。

本会へのご寄付は、寄付金控除の対象です

JAFSは内閣府より公益社団法人としての認定を受けています。JAFSへの寄付金や会費（社員会費は除く）は、申告によって、所得税、法人税、相続税について税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

確定申告の際、税額控除、所得控除のいずれか有利な方を選択できます。本会発行の領収書を添付して申告してください。法人税は損金の額に算入することができます。相続税は最寄りの税務署などにお問い合わせください。

巻頭言

貧しくも明るい子らに惹かれて



渡辺 治彦
アジア協会アジア友の会 理事

私がJAFSに関わるきっかけとなったのは、2012年のネパールワークキャンプでした。5月の連休を利用して軽い気持ちで参加したのですが、行ってみて多くのことを考えさせられた行事でした。想像していた以上の多くの衝撃を受けました。食べ物の違い、電灯は一つだけ、夕食はランプの下で、その後は寝袋で……。山の湧水を引くパイプラインのワークで、まだ水は少なく、朝の歯磨き・洗顔はコップ一杯で始まりました。炎天下で水の貴重さを身をもって知りました。終盤には、現地の水にあたり、2日間寝込むことになりました。本当にすごい経験となりました。同行のメンバーが意外と平然としていたことも驚きでした。皆さん、経験済みとのことでした。

印象に残っているのは、現地の方との会話です。校長先生が夜遅くまで、学校運営のたくさんの課題と、その先の希望や夢を熱心に語っていました。学校を「作る（建てる）」と「創る」とは違うのだ、ということがわかりました。もう一つ印象に残っているのは、子どもたちの様子です。多分、衣服

はズットと同じものかなあ。それもおさがりで。裸足の子も何人かいました。でも、それにも負けないたくましさ、明るさに惹かれました。その後、好奇心に任せ、フィリピン、中国・ウイグル、スリランカの行事にも参加。各地の状況は違えど課題を抱えており、現地の人の活動にさらに興味を引かれました。話は変わりますが、50歳代の頃に、仕事は面白かったのですが、「人生の豊かさとは？」と少し考え始め

ました。振り返れば当時は、ほぼ会社人間で、休日は何をするともなく、友人・知人も含め、会社関係一辺倒でした。これではいけないと考え始め、JAFSの各種行事にも参加しました。そこには、なかなかの人生の達人がいらっしやいました。いろんな方面の知識の奥行きを感じさせられ、「豊かさ」の一つとはこういうものか。とも思い、参加する機会が徐々に増えていきました。

● プロフィール ●

わたなべ・はるひこ 1956年
徳島県阿南市生まれ。工業高校卒業後、関西電力に入社。主にコンピュータ関連で、業務のシステム化に従事。定年を機に関電システムズに転職。現在に至る。2007年JAFS入会、22年JAFS理事。

「一生の終わりに残るものは、『集めたもの』でなく、『与えたもの』だ」
よかつたらご参考に。

- 一、地球の自然環境を大切に守ります。
 - 一、生活の無駄を省き、地球資源を大切にします。
 - 一、これらの奉仕活動を通して、自分と他人の生命の価値を高めます。
- 以上

その方々に接し、パワフルさや行動力の背景が、ボランティアに関わることの「志」にあると感じるようになりました。納得するとともに、自分自身の人間力も向上できればと思っています。日々の生活では国際協力・交流は遠い所がありますが、JAFSと関わって少しずつ関心を寄せるようになってきました。まずは「関心を持つ」ことからだと思います。アジアや世界の人々が置かれている状況や課題を気にとめる。そこからがスタートではないでしょうか。

「一、より人間らしい地球社会の創造をめざします。」
「一、アジアと世界の人々の幸せに奉仕します。」

JAFS会員綱領

- 一、私たちは、世界の平和と人間の基本的な権利を守るために人々との「友情と信頼」に基づく「理解と協力と連帯」の輪をアジアと世界に広げます。
- 一、かかる目的をもって私たちJAFS会員は以下のことに努めます。

特集 第2回 JAFS「水」写真コンテスト

優秀賞
= 2位

Precious as drops, priceless as an ocean.
Cherish every drop of this liquid gold - 粟、
海のように貴重な水。輝く一滴一滴の水を大
切に (レシナ・バジュラチャリヤ、ネパール)



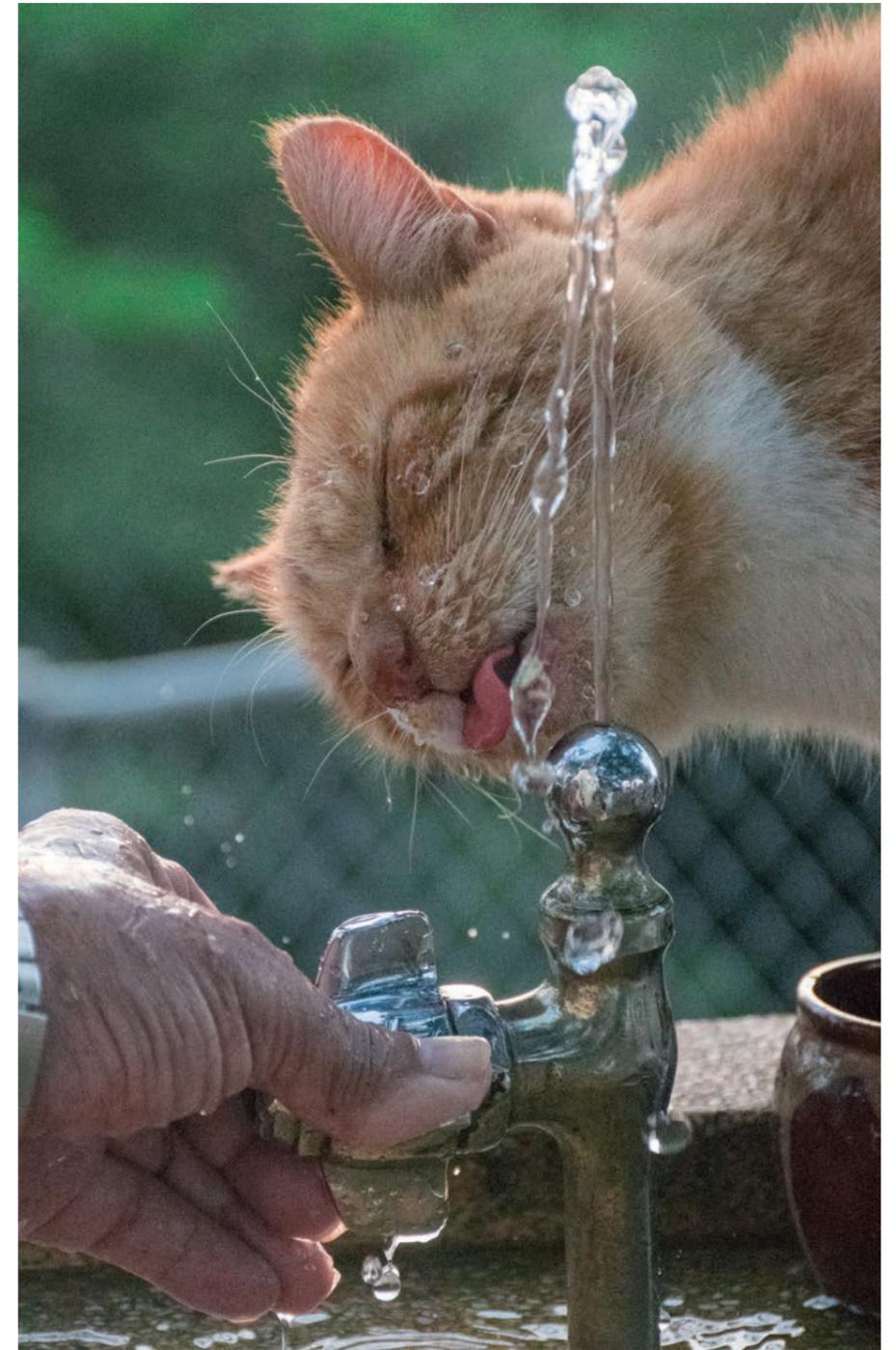
3位 みんなで水汲み (高橋 優)



国連の世界水の日(3月22日)に合わせて昨年につ
き、JAFS「水」写真コンテストを開催しました。
「日常の中の水」をテーマに国内外から192点の応募
があり、審査員9人による1次審査を通過した20作
品を2月16〜27日、大阪・阪急うめだ本店のNPOフ

最優秀賞に小出由美さん

エステイバルで展示しました。来場した726人とオ
ンライン22人の投票による2次審査オーディエンス
投票の結果、水道から水を飲むネコを撮った沖縄県那
覇市在住の小出由美さんの「命の水」が最優秀賞に選
ばれたのをはじめ、5点の入賞作品が決まりました。



最優秀賞 = 1位

命の水 (小出 由美)

人と動物の共生～自分で飲めない猫に、蛇口を開けてくれるおじさん

最優秀賞の小出由美さん

憧れの阪急百貨店で作品を展示してもらえ、さらに最
優秀賞までいただくことができ、とてもうれしいです。
選んでくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

公園の水飲み場の、自分では飲めない猫と、蛇口を開
けて飲ませてくれるおじさんのように、人間と動物が共
生していければいいですね。

身近な水に 驚きと感動

阪急うめだ本店の展示会場では、買
い物に訪れた多くの方々が、足を止め
て審査に参加くださいました。「こん
なにさまざまな水の写真を見ることが
でき、改めて自分の周りは水に囲まれ
ていることを感じました」「水のテー
マの写真展は初めて。写真を撮ること
が好きなので来年はぜひ応募したい」
などの感想をお寄せくださいました。
写真のテーマを実感して欲しいと願
って置いた井戸は、子どもたちに大人
気でした。何度も触りにきていた母と
子。お母さんは「テレビの中で見るも
のに自分の手で触れたことは親子とも
に印象に残りました。「水」の日に水
のことを考えます」

今回の展示を快諾くださった一般財
団法人H₂Oサントラの事務局長・外間
孝次さんは「H₂O「水」なので、
私たちのテーマと同じです。水のように
、社会貢献が、世の中に当たり前に
浸透していくお手伝いをするのが私た
ちの役割です。この写真展からも、そ
れをより多くの方々にお伝えできれば
と願います」と話していました。

(JAFSスタッフ 熱田 典子)

4位 千年の水 (高島 賢)



5位 畑の虹。(須田 康之)



ネパールコーヒー豆を パールの特産に

新しい挑戦がスタート

コーヒー豆をネパールの新しい特産品に育てようという試みが、同国のシンドゥパルチョーク郡インドラワティ村で始まりました。JAFSや地元の人々が協力して昨春完成した大規模揚水システムを活用し、みんなが「食べていける」自立した村づくりを目指します。

(JAFSスタッフ 熱田典子)

インドラワティ村では、2015年4月に起きたネパール地震の直後から、被害からの復興策として植林をしてきました。しかし、元々これといった産業がない地域なので、植林するだけでは限界があることが分かってきました。もっと暮らしの向上につながることをする必要があり、という意見が村人から出始めました。

本誌でも何度か報告したように、新しい揚水システムは、これまで水を得るためだけに毎日2km、3kmと歩き回らなければならなかった村人の暮らしを劇的に変えました。これで得られる水をより有効に活用し、暮らしを整え

ていきたいと、多くの人たちが思い始め、その一つがコーヒー栽培でした。「寒いネパールでコーヒーって作れるの？」と、疑問に思う方も多いと思いますが、首都カトマンズより南の地域では、以前から栽培されています。近年はカトマンズより北でも栽培されるようになりました。

一方、都会では若い世代がカフェを利用するようになり、南アジアや東南アジアと同様に、ネパールにもここ1、2年でカフェブームが到来しつつあります。しかし、街のコーヒー販売会社によると、現在、ネパール国内で生産されているコーヒーは、全消費量



育苗ポットで育てたコーヒーの苗の前に、村人たちに説明する三本木一夫さん(右手前) =ネパール、シンドゥパルチョーク郡インドラワティ村。円内は木になったコーヒーの実



の3分の1程度に過ぎません。まだまだ需要の伸びしろが十分あることが分かってきました。

もちろん、新しい作物を根付かせるのは大変です。村では、JAFSに協力を仰ぎ、日本から専門家に来てもらうことにしました。

現地で指導にあたったのは三本木一夫さん。コーヒー栽培に詳しい農業技術者です。「良いコーヒーの木は100年持ちます。孫の代まで実がつくコーヒーの木を育てましょう」と呼びかけ、育苗ポットで苗を育てるところから、手取り足取りして教えました。

長年農業をしてきた村人たちも、初めての経験で勝手が違う様子。「なぜ、こんな大きなポットで苗を育てるのですか?」「この場所はコーヒー栽



コーヒーの苗を背に乗せて運ぶ「カロ」と呼ばれる馬 =ネパール、シンドゥパルチョーク郡インドラワティ村

将来がかかっているところ、って、みんなの表情から、真剣な熱意が伝わってきました。

村では今年中に約1.5haの土地にコーヒーの苗木2千本と日陰づくり用の木千本を植え付け、1万床の苗を作る計画です。3年目からの収穫を目指しています。

三本木さんは「新しい土地に新しい作物を導入することは容易ではありません。コーヒー一粒一粒、一本一本を大事に育

ていかなければなりません。コーヒーの樹も皆さんの努力を見えています。

災害に強いネパール作ろう

新事業スタート暮らしの足元固めながら

JAFSはネパールのインドラワティ村で、2015年に起きた大地震から満8年を迎えた4月、現地提携団体と協力して、地震などの災害に強い地域を作る新事業を始めました。

23年度はまず、住民・学校・自治体の連帯強化と防災活動の基盤整備のために、防災組織設立、コミュニティセンターとラジオ放送局の設置、マイ防災

マップ作成などを実施します。2年目を以降は、防災備蓄庫の設置、土砂災害リスク軽減のための斜面崩壊対策工事、避難訓練講習などにより、防災・減災に不可欠な自助共助を醸成し、災害に強い農村の実現を目指します。約2万8千人の村民全員が対象です。防災組織づくりにおいては、日本の各地で経験をお持ちのJAFS会員の

皆様からも、どしどしアイデアをいただいて進めたいと考えています。

東日本大震災の復興事業に関わった経験を持ち、本事業に協力してくれる土木エンジニア、天野紀さんが1月、現地を事前視察しました。

その報告によると、大地震後も地滑りが多発している地区で、路肩の保護が全くされず、一歩間違えると百m近く落下する危険がある細い道を、多くの子が通学路に使っている所がありました。村人は「何かあったら考える」と答え、学校も行政も対策をとっていませんでした。

可能性がある限り頑張っていきたいと思います」と話しています。地域には、コーヒー栽培をサイドから支えてくれているアイドルがいます。「カロ」と呼ばれている馬です。ここでは、自動車を通れない細い道しかない所が多くあります。コーヒーの苗木を配ったり、雨季にも荷物や作物をスムーズに運べるように馬を飼っています。加えて、馬糞はコーヒーをつくるための堆肥の大変良い材料になります。「コーヒー×馬」循環型農業による持続可能な産業づくりを助けているのです。

この取り組みで実ったコーヒーを味わえる日を、楽しみにしてください。※本事業は「緑の募金」の助成を得て実施しました。

地域の人たちからは、手早く収入を増やせる産業を育てたいという要望が多く寄せられています。このように、その大事な前提になる、人々が安心して安全に暮らせるためのインフラ整備や防災・減災意識がまだ十分でないことが明らかになりました。

新事業は、目先の成果だけにとらわれず、長期的な視点で人々の暮らしの足元を固めながら、持続可能で地道な方法で進めたいと考えています。本誌では、この新事業の進み具合を今後、随時紹介いたします。(JAFSスタッフ 熱田典子)

市立病院の再建へ奔走の日々

ウクライナから避難ラジスラーボさん

「戦争が早く終わってほしい。今の時代に、戦争になると思っていない。ウクライナ人、ノボカチコ・ラジスラーボさん（45）。先に日本に避難して

いた両親や子どもたちの願いを受け入れて2022年9月16日に来日しました。持病があつて、希望しても軍に入ることができないため、国外に避難して自分にできることをしたいと思った

そうです。

来日は2回目。最初は11年前、妹がいる日本を見たくて旅行で来ましたが、今はそのときは娯楽のためでしたが、今は生きるためにいる。大変な違いです。

「何よりも、家族の顔を見て生活できることで心が安定しています。まずは自分の子どもたちが安全に過ごすことができていることが、大きな安堵となっております」

日本人はとても親切な人が多いという印象は以前も今も変わらず、日本のことがとても好きだそうです。

「日本は行政も人々も温かく受け入れてくれます。学校に喜んで通う子どもたちの顔を見て、普通の日常を味わうことができる喜びを感じています」

ウクライナに残る人たちのためにできることを探していますが、日本語ができないので仕事を見つけれず、日々の生活で精一杯になっています。

「もどかしさを感じます。戦争によって、手、足、指を失くした多くの犠牲者がいます。日々の暮らしも困難で、人間らしい生活ができていない状態になっています。日本の優れた技術に

よって彼らの状態を改善できたら、どんなに素晴らしいことでしょう」

彼の出身地・スームイ州のトロスタネツカ市立病院は、ロシア軍によって侵攻直後に破壊されました。多くの機材も破壊され、治療を受けられない人たちが今も多くいます。なんとか治療を受けることができる環境に戻すことができないかと悩む毎日です。

「日本は世界で唯一の被爆国です。私は広島市の平和記念資料館に見学に行き、日本が経験されたことを自分の目で見て確認したいです。日本がこれからも平和であるように、皆さんで守ってください。平和が何にも代えることができない尊いことであることを、私たちは身をもって経験しているので、声を大きくしていきたいです」

皆さまの支援を募集

JAFSは、病院の再建協力のほか、市民の健康を守るために防寒下着支援や健康チェック活動をするにしました。緊急時の救命救急に役立つよう、健康状態を記したIDカードの携帯も進めています。

事業には外務省の資金を活用しますが、予算に限りがあります。健康IDカード普及にご支援をお願いします。

◆本誌では、ウクライナから日本に避難している方々の近況を随時お伝えします。

園作り」「相互協力とボランティア活動」などです。

先生と子どもたちがプログラム内容について何度も相談し、ワークシヨップなども取り入れ、より理解し、実践できるように工夫しました。激しい風に家を飛ばされてしまった子もおり、とても怖い思いをしましたが、熱心にプログラムに参加していました。

特に被害の大きかった地域では、被災家庭に植物の種や果樹の苗木を配り、生計に関する相談や食料生産・裁縫・料理などの指導もしています。被災者同士や相談窓口、学校をつないで情報共有し、励まし合いながら復旧を進めることができるようになりました。各家庭の菜園では、さまざまな収穫物が得られるようになりました。生計を立て直すにはまだまだ時間がかかりますが、毎日家族が食べていけることは、大きな心の安定につながっています。

被災者支援の呼びかけに対し、日本の皆さまから70万4500円（2月28日現在）のご協力をいただきました。被災地では、家屋の修繕や学校を拠点とした定期的な食事の提供、青少年を中心とした防災や緊急時の避難を学ぶ活動を継続してまいります。引き続きご支援をお願い申し上げます。

（JAFSアンチエイケ代表
ジェネロッサ・コンデス）

台風被災地、復興へ一歩ずつ

フィリピンの提携団体から支援報告

フィリピン中部を2022年10月28日、台風22号（パエン）が横断し、大きな被害が出ました。JAFS提携団体であるAFSパندانとAFSサウスアンチエイケは地域の人々と連携し、特に被害が大きい地域の約550世帯に支援を始めました。被災直後は食料品などを配り、今は学校で食事を提供し、子どもの学用品や、家屋倒壊世帯へ修繕・建材の支援をしています。

台風では多くの地域で大雨による鉄砲水や洪水、地滑りが起きました。最大瞬間風速は30m/秒を超え、家屋が倒壊し、河川が氾濫して田畑へ土砂が流れ込みました。多くの人が家畜を失いました。今回は特に国の西側（ジバロン・パトノンゴン、ブガソン、ベリソン、ラアアン）で大きな被害が出ています。繰り返し返される被害に多くの人々が打ちのめされています。

パナイ島アンチエイケ州は、毎年多くの台風が通過しますが、地球温暖化の影響からか、年々規模が大きくなり、回数も増えています。今シーズンには、直撃しただけでも3つです。



なかなか生活基盤を立て直せませんが、少しでも被害を減らし生活を回復

させていくために、地域のグリーンズアウト活動に力を入れています。

パندانのギア小学校とサンアンドレスのダムログ小学校では、台風から命を守るための青少年啓発プログラムを開き、計271人の生徒が参加し、耳を傾けました。

トピック（テーマ）は「台風を含めた地球環境への理解と環境保全への取り組み、私たちが担う役割」「緊急時の避難や自己安全管理、ファーストエイド」「学校と地域社会で安全なクリン&グリーンな行動計画」「食の安全と菜

台風から身を守るための安全と環境の啓発プログラムフィリピン、アンチエイケ州パندان、ギア小学校

「学びたい」比の子どもたち ストリートドレン 支援プログラム

長引くコロナ禍の下、フィリピンでは久しぶりにストリートドレンを支援するプログラムが対面で行われ、JAFS会員の皆さまが贈った学用品が、子どもたちに手渡されました。

活を送るといふ夢を実現できるためには、さらに継続した支援が必要です。参加した子どもたちの近況報告と感謝の声を紹介します。敬称略。

ハナナ・ローズ・タパン（10年生）
コロナのため、授業は主に、政府が決めたカリキュラムを自宅でオンライン学習しています。子どもたちは外出を制限されています。疑問に思ったことを先生に直接質問できません。やる

気が失せてしまうことがあります。それでも、よく勉強すれば、もっと学ぶことができる自信を持っていきます。自分だけでは自信を持ってません。対面式のクラスやASI（アジア社会科学院）の課外プログラムが開催されることを楽しみにしています。

ランスタッド・マーティン（7年生）
コロナ禍でも、学ぶことをやめたくありません。間違つて理解していても、先生やクラスメートがいなくても、誰も私たちに直接指導してくれませんが、課題（学校のカリキュラム）を

より自信を持って学習できるように、これからはがんばります。

教室外で勉強することは、多くの混乱を引き起こしました。家は兄弟姉妹の家族が大きな音でテレビを見ていることも邪魔になります。問題は多いですが、一生懸命に努力しました。クラスで最も成績の良い生徒の一人として表彰されました。

（アジア社会科学院副学長
デニス・バトイ）

パキスタンに興味津々

大阪の小学校で 国際理解授業

JAFSが日本語サポート活動をしている大阪市西区の小学校で2月10日、2年生と4年生にパキスタンについて国際理解の授業をしました。両学年には同国出身の児童がいます。昨年8月に発生したパキスタン大洪水を機に、何か彼らの力になることはできないか、と学校から頼まれたのです。

「けんか」という言葉を用いて分かりやすく説明しました。イスラム教の話も、アサドさんが着ていた民族衣装とモスクの写真を見せながら紹介しました。児童たちからは「イスラム教で食べてはいけないものってありますか」「いつイスラム教が入ってきましたか」

「パキスタンの国歌はどんなんですか」にはパキスタンの児童と授業の様子を見にきていた保護者が一緒になって、みんなの前で合唱しました。

（JAFSスタッフ 坂口優）



内モンゴルに見る多文化共生の光と影

JAFSの セミナーから

講師：王少鋒（大阪電気通信大学 人間科学研究センター 准教授）

第4期アジア市民大学第10回



講義の舞台である地域「内モンゴル自治区」はモンゴル文化と中国文化の間に位置する土地です。モンゴル帝国の成立、続いて清王朝による拡大、ソ連の登場とモンゴルの社会主義化の波、そして中華人民共和国の成立を経て「内モンゴル自治区」へと変容しました。現在、自治区では宗教、言語、情報収集、教育の保障、一般人試の優遇、自治区の民族からの首長選出が民族地域自治法で認められています。

内モンゴル地域の風土は日本と異なり降水量が極端に少なく、冬には零下10度を下回り耕作には厳しい過酷な土地です。この草しか生えない土地において頼りになるのは羊でした。羊は食糧であり水樗（たぐ）なのです。羊を放牧し、移動式の住居（ゲル）を拠点に馬で追いつけ回るといふ生活様式を伝統的に営んできました。

しかし、近年ではこの長く守られた伝統的な生活様式が変化しつつあります。現代化によって羊にはGPSが取

り付けられ、馬がバイクに変わり、簡易的な風力発電や太陽光発電が設置されゲルに電化製品が並ぶようになりました。

生活様式だけではなく生活で使う言語も変化しました。モンゴル語習得のための寄宿タイプの学校も存在しますが、中国語を学んだ方が進学や就職において有利であり、モンゴル語を話す若者が減っていく現象がみられます。言語は文化的知識の習得と関係があります。例えば馬の毛色に関する単語は日本では8種しかありませんが、モンゴル語には300種以上存在します。

言語は物の見方や考え方で影響を与えます。加えて言語はアイデンティティとも深い関係があります。ことばを通じて自己アイデンティティ「人」を形成し更新します。現在、世界には6000以上の言語が存在しますが、ユネスコによれば約2500に上の言語が消滅の危機にあります。この言語的マイノリティをどうするのかという課題が出てきています。

現代化は人々の移動も促進させました。異なる文化背景を持った人々との共生は避けられない事象となつていきます。多文化共生へと進む社会にはメリットとデメリットがあります。メリットとしては、アメリカのように優秀な人材を世界から呼び寄せ、多様な価値観、異なる視点が刺激し合うことで、新たなアイデアが生まれ、イノベーションが生まれます。さらに自由で民主的な社会では、一人ひとりの尊厳が大切にされる社会が形成されます。

その一方で、「まとまり」に悪影響をもたらすことが挙げられます。異なる言語の存在を認めることで、社会の



構成員間で満足のいくコミュニケーションが取れないことがあります。例えばゴミの出し方やルールなどお互いに苦労する場合があります。外国人がすべてを理解し完璧にするのは難しいのです。

グローバル化が進む中で地球規模の相互依存が進行していきます。日本は現在既に300万近くの外国人が暮らし、インバウンドなどで多くの外国人観光客も訪れています。これから積極的に移民政策を実施するか否かにかかわらず、異なる文化的背景を持った人々との共生は避けられない課題であるといえます。

2月18日に開講
（まとめ）アジア市民大学講師・元国際医療福祉大学講師 實一穂

民族・宗教を超えて協力

長年、安全な水が飲める井戸を待ち望んでいた村人は、井戸の建設にとっても協力的で、技術者がする作業以外は、民族・宗教の違う多くの村人がともに働き、井戸周辺のプラットフォーム作りや道路整備をしました。子どもたちが中心になって、井戸の周りに、水を浄化し保水する力がある木々の植林も始めました。木々を育てることによって、緑多い土地をよみがえらせ、井戸の水を枯らさず、また、土砂崩れなどの自然災害からも村を守ってくれます。心から感謝します。



ザバラガムワ州ラトゥナプラ県ワラルゴダビサミトゥラ村
受益者：20世帯140人 井戸の形式：露天式（深さ10m）

【寄贈者】荒川大様

【寄贈者】富永信明様

ザバラガムワ州ラトゥナプラ県ゲージャヤD17エ
ラ村 受益者：17世帯140人と近隣農民80人
井戸の形式：露天式（深さ6m）



衛生教育や感染予防講習も

村に井戸はなく、遠くの池などから日々の水を何時間もかけて得ていましたが、衛生的な水とは言えず、腹痛や皮膚病を患う人が多くいました。そこで現地提携団体SARVODAYAが村に入って調査。村人たちと相談し、現在の場所に井戸を建設することになりました。村では井戸ができたことをきっかけに、衛生教育や感染予防講習が行われ、井戸の水によって実践することが可能になりました。井戸ができたおかげで、村で暮らす人々の生活が大きく改善されました。

周辺の道路整備に村人が協力

この村には村人が掘った古い井戸が一つありましたが、水量がとても少なく、遠くの池まで日々の水をくみに行かなければなりません。水質もとても悪く、水が原因で健康を害する村人が多くいました。しかし、汚れている水と分かっていても、他に水を得られる手段がなく、その水を使わざるを得ませんでした。井戸ができ、村の中で安全な水が得られるようになり、村人たちは心から喜んでいました。井戸周辺のプラットフォーム作りや道路整備は村人が協力して行いました。



ザバラガムワ州ラトゥナプラ県ゲージャヤ
2村 受益者：16世帯85人
井戸の形式：露天式（深さ8m）

【寄贈者】ファンシープランニング様

【寄贈者】株式会社ユニコーン様

家族が健康で過ごせます

井戸が寄贈され、村で安全な水を得ることが可能になりました。村人にとって、毎日十分な水を飲むことができ、家族が健康で過ごせることは、何物にも代えがたい大きな喜びです。今まで毎日どのように水を得るかが大きな悩みでしたが、井戸ができたことにより、水くみに費やしていた時間を他の仕事や勉強にあてるできるようになりました。村で水管理組合を作り、井戸の水をみんなが平等に安心して使えるように管理してまいります。本当にありがとうございました。



ヌエバエシハ州ジェネラルマメルトナティビダード町マナログ村
受益者：21世帯100人 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）

安全な水を村でいつでも十分に

この村には古い浅井戸が1基ありましたが、水は茶色く濁っており不純物も多く、濾して煮沸していましたが、飲むのは難しい水でした。個人で井戸を持っている村人もいましたが、水量が十分でなかったため、常時分けてもらうことはできませんでした。女性や子どもにとって、遠くのため池や農業用水路での早朝からの水くみは重労働でした。この度、井戸をご寄贈くださったおかげで、村で安全な水を十分に得ることができるという初めての体験に、感謝でいっぱいです。



【寄贈者】坪内かず代様

ヌエバエシハ州ジェネラルマメルトナティビ
ダード町タラプタプノルテ村 受益者：26世帯
130人 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）

フィリピン

ご寄付には
税の優遇措置が
受けられます

いのち 生命の水 うるおす未来

井戸の寄贈にご協力ください。あなたの力がアジアの人々の命を助けます。ご寄贈者に完成報告書、写真、パネル写真を届け、現地の井戸に、ご寄贈者のネームプレートを設置します。

■井戸1基の建設に必要な費用■（2018年4月現在）

インド=60万円 フィリピン=33万円
カンボジア=28万円 スリランカ=22万円
ネパール=17万円（パイプライン=25～150万円）
バングラデシュ=浅井戸22万円、深井戸55万円

※5年間のメンテナンス費、現地管理費を含む概算です。※現地資材費高騰により費用を1割増に変更させていただきます。ご理解ご協力をお願いいたします。

■お振込み先■ ・郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会
・三菱UFJ銀行大阪中央支店 普通1968711 公益社団法人アジア協会アジア友の会

詳しくはアジア協会アジア友の会
06-6444-0587へ

安全で衛生的な水を確保できないアジアの地域に井戸ができて生活基盤が整い、自立へ一歩踏み出せるようになりました。ご寄贈くださったみなさまに感謝申し上げます。

みなさんのおかげで 井戸ができた村

水くみの4～5時間が不要に

日々の生活に必要な水を得るために、家から数km離れた水場まで1日数回歩く生活を送っていました。水を得るために長年苦勞し、大雨が続くモンスーンの時期は、どしゃぶりの中でも水をくみに行く必要があり、小さい子どもを一人家に残し水をくみに行かなければなりません。水場に到着しても、水を求めてたくさんの方が集まるため、長い行列に並ばなければならず、1日の4～5時間を水くみに費やす日々でしたが、それがこのご支援により大きく改善されました。



【寄贈者】株式会社ユニコーン様
 バグマティ州シンドウバルチヨーク郡ボテンパ
 村レイリー集落 受益者7世帯
 井戸形式・水道パイプライン・水場7カ所

けんかも病気も起こらない

地震以後、湧水の量が減少し、日々の生活に欠かせない水が得られないことで、大きな苦勞の連続でした。水の取り過ぎや水場の占領が原因で、村人どうしのけんかが起こることもありました。また、水場にはネズミやカエルがいることや、モンスーンの季節には水が濁ってしまうので、やっとくめた水で子どもやお年寄りたちが赤痢などの病気になることがありました。このご支援でその状況が大きく改善し、大変喜んでいます。

バグマティ州シンドウバルチヨーク郡ボテンパ
 村マチロカウ集落 受益者6世帯
 井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所

【寄贈者】デコ巻き寿司・点心壽賀会様



友だちと遊び復習できる

私の役割は、学校から戻ってすぐに水ガメを持って2km先の水場へ向かい、順番待ちをして、くんだ水を持ち帰ることでした。家に帰り着くまで2時間ほどを要していました。違う村に住むところが、自分の家の近くで水がくめるようになったので、下校後も友だちと遊ぶようになった話を聞いてとてもうらやましく思っていました。皆さんのおかげで私たちが、友だちと遊ぶ時間や復習する時間を得ることができるようになりました。とても嬉しいです。

バグマティ州シンドウバルチヨーク郡ボテンパ
 村レイリー集落 受益者6世帯
 井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所



【寄贈者】中宮寺様

家の近くに井戸がある幸せ

この村はネパールの中でも貧しい村の一つです。人々は、グア（土から自然に出てくるほんの少しの水）から日々の水をくんでいました。グアがこの村唯一の水資源でした。村人たちは安全な水を得るのに苦勞していて、水をくみに何マイルも歩かなければなりません。一度に2つの水瓶を背負い、毎日3、4回往復することが通常でした。家の近くで水がくめるなんて考えてもいませんでした。今、村人たちは井戸から水がくめてとても幸せを感じています。



【寄贈者】湯川剛様
 バグマティ州シンドウバルチヨーク郡シパ
 タール村 受益者215人
 井戸形式・集水式パイプライン式

各家に水道がやって来た

私たちの集落の各世帯に水道の設置が決まったときは、踊り出すくらい大変うれしかったです。水を得るために長年苦勞してきましたが、これからは自分たちの家で水が出るようになったのです。夢のような現実が、私たちの日常にやってきたのです。水くみに行かなくて済むようになったことは、私たちの生活に劇的な変化をもたらしてくれました。水道代金を払う必要がありますが、これまでできなかった野菜作りや家畜を飼うことができます。生活向上にこの水が大いに役立ちます。

バグマティ州シンドウバルチヨーク郡ボテンパ
 村レイリー集落 受益者6世帯
 井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所

【寄贈者】大阪府立天王寺高校FAN様



【寄贈者】大阪女学院中学校2020卒業生一同様

第4州ナワルプル郡カワソティ市第13区
 受益者4世帯22人
 井戸形式・手押しポンプ式



井戸を借りず自分の水

私たちが使える井戸はかなり以前からなく、他の地域の世帯に頼んで井戸を使わせてもらっていました。特に、私たちのうち1世帯には障害を持つ少女がいて、水浴びする際に他の地域の井戸に連れて行くことがとても困難だったため、家の近くに自分たちで管理できる井戸を持つことが大きな願いでした。また他の世帯も、井戸を借りて水をもらうため、必要な水量をくむことができない日々でした。この井戸により、毎日の生活に必要な水がいつでも得られるようになりました。

農業で食べていく「宝の水」

地震が起きて大きな被害を受け、なんとか皆でがんばっていかればと思っていましたが、使える水の量がどんどん減って、野菜を栽培するためにも大きな苦勞が生じました。地域には現金収入を得られる仕事がないため、農業をすることによって、なんとか食べていける生活です。そのためには「水」の状況の改善を望んでいました。水は私たちにとって宝です。

水環境が良くなり、日々安堵した生活を送れるようになりました。ありがとうございました。



【寄贈者】内園光子様

バグマティ州シンドウパルチヨーク郡ボテシパ村
ダダガウン集落 受益者…6世帯
井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所

【寄贈者】株式会社エムピ 松浦正様

バグマティ州シンドウパルチヨーク郡ボテシパ村
ネパネ、レイリー集落 受益者…12世帯
井戸形式・水道パイプライン・水場12カ所

家の庭先で水がくめる

長い間、水をくむのに大変苦勞してきました。年寄りたちは、自分で水くみに行ったり重い水を運んだりすることができず、義理の娘が一人でその責務を担い、往復30分以上かけて一日に複数回水くみに行っていました。

それが今では、自宅の庭先で水をくむことができるようになりました。これは、私たちにとって大変幸せなことです。

これを実現するためにご支援をしてくださった日本の友人の皆さまに、本当に感謝しています。



【寄贈者】ネパールへのかけ橋様



子どもが健康で気持ち軽く

6世帯のうち2世帯は子どもが多い世帯で、これまではきれいな水がなく、子どもたちが頻繁に下痢をしていました。親にとってはとても辛いことでしたが、その心配がなくなり、気持ちが軽くなりました。家族のほとんどが畑に出た後は、乳児を背負った母親が何度も水くみに行くので、どこかで転ばないかと気が気ではありませんでしたが、そのような心配もなくなりました。このような生活が変わるための日本からのご協力、ありがとうございました。

バグマティ州シンドウパルチヨーク郡ボテシパ村
マチロガウン集落 受益者…6世帯
井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所

安定した暮らしへ一歩

水場の設置が完了した各家庭では、これまで水をくむために費やしていた多くの時間を、家族と過ごす時間、農作業をする時間、勉強し、友だちと遊ぶ時間など、生活の中のより重要なことに使うことができるようになりました。

また衛生面において安全な水のおかげで、より健康的な生活を送ることができるようになりました。

これからの安定した暮らしの一歩へのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

バグマティ州シンドウパルチヨーク郡ボテシパ村
ネパネ、レイリー集落 受益者…12世帯
井戸形式・水道パイプライン・水場12カ所



【寄贈者】株式会社エムピ 松浦正様

お年寄りを水くみから解放

私たちにとって宝物となる水場の設置にご協力くださり、誠にありがとうございました。ご寄贈くださった方が88歳の記念に贈ってくださったことを聞かされ、さらに大きな喜びと感謝をお伝えしたいです。

この集落にも老人がいて水くみをしていました。足腰の痛みがあっても、水くみは続けなければいけない日々の仕事でした。それがこのご支援で大きく軽減されました。きれいな水を得て健康に気をつけて生活をしていきます。ありがとうございました。



【寄贈者】若山治子様

バグマティ州シンドウパルチヨーク郡ボテシパ村
ダダガウン集落 受益者…6世帯
井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所

【寄贈者】吉田敬市様



好きな村で暮らしていける

水を得るために長年苦勞をしてきました。地震後、これまでの水源が徐々に干あがってきたので、今後の暮らしが心配でした。この村が好きですが、ここで暮らしていくことができるのか不安でした。

そんな中、水源のないこの村のために、山の下の川から水を揚水していただき、私たちの家にも水をくめる水場ができたことに、大きな感謝でいっぱいです。

大切にしていきます。

バグマティ州シンドウパルチヨーク郡ボテシパ村
レイリー集落 受益者…6世帯
井戸形式・水道パイプライン・水場6カ所

国内外のさまざまなイベントをHPに載せています。記事についてのお問い合わせはJAFSへ＝裏表紙にアドレス、連絡先



走って チャリティ 大阪マラソン

JAFS
初参加

2月26日に開催された大阪マラソン2023にJAFSがチャリティパートナーとして初参加し、チャリティランナー12人が、応援団の声を沿道から受け、大阪市内を大阪城公園まで周回するコースを元気に完走しました。ランナーが集めてくれた寄付9万624円は、ネパール、シンドウパルチョーク郡インドラワティ村ニューパネタール地区のパロパカール小学校と1集落に飲料水を供給するパイプライン(全長2500m)建設と衛生啓発活動に充てられました。(JAFSスタッフ 坂口優)



同マラソンは「チャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げる」という趣旨に賛同した人が、チャリティパートナーの中から寄付したい団体を選んで1人千円を寄付し、さらに家族や友人にも寄付を呼びかけて計7万円以上を集めると、チャリティランナーとなって参加できる仕組みです。チャリティランナーとして走ってくださったのは次のみなさんです。大島

「役に立て幸い」「完走し達成感」

直樹／滝沢友吾／小河健一郎／豊留薫／河平幹雄／中川裕貴／木下歩／布川理紗子／重本裕太／又川朱里／高野和成／山本千佳。ランナーの声を紹介します(敬称略)。
「非常に思い出深い経験をさせていただきました。一人で苦しいときも、沿道からのJAFSチームの応援や、チャリティランナーの声掛けで、一体感の中で走りられました」●木下
「個人枠と違い、JAFS皆さまの応援に勇気をもらいました。おもてなし、ありがとうございます」●高野
「10kmくらいしか走ったことがなく、完走できたことに自分自身ビックリ。オンライン交流会で会った方々や応援してくれた方々の顔を浮かべ、何とか走りられました」●小河、写真左
「一度はやってみたかったフルマラソン。スタッフや沿道の皆さまの声援で無事完走できました。今回のチャリティが、ネパールの皆さんへ少しでも役に立てれば幸いです」●滝沢、写真中
「チャリティに応援くださった多くの方々の思いとJAFSの皆さまの応援で元気がチャージされ、完走できました。大阪マラソンはチャリティマラソンだと実感しました」●豊留、写真右

生きる喜びと平和を願い アジ・フエス7年目

JAFS主催の第7回アジアン・チャリティ・フェスティバルが2022年12月10日、大阪市天王寺区上本町の大阪国際交流センターで、留学生46人、外国人18人を含む計231人が参加して開かれました。

皮切りは、マホメッド・ジャケルさんと西亀真さんの対談。ジャケルさんは在日29年の半生をつづった『パンツを脱いだあの日から・日本という国で生きるー日本社会の一員になったパングラデシユ人の物語』(ゴマ書房新社)を同年3月に出版。本誌149号「活躍するアジアン」。西亀さんは盲目のカウンセラーで「幸せの入り口屋」という会を運営しています。

ジャケルさんがパングラ独立当時の壮絶な体験を語ると、西亀さんは「目が見えなくなると幸せになった」と自らの体験を紹介して生きる喜びを赤裸々に語り合い、会場を感動で包み込みました。

続いて、平和を願って各国の国歌を原語で歌う世界ツアーをしているソプラノ歌手・鶴澤美恵子さんが登壇。「君が代」やパングラデシユの国歌を高らかに披露しました。

年末の恒例行事としてすっかり定着しましたが、今回は初めて2階と3階の2フロアで開催。法人紹介コーナーなどの新しいブースも増えました。舞台でのアトラクション「写真」を終日楽しめた内容となりました。日本の伝統芸のアトラクション、留学生交えてのゲーム大会とビンゴゲームをはじめ20以上の店舗によるアジア雑貨販売など、盛りだくさんの内容で開催できました。

新谷百代

「コロナ後」見据え 地区会長会開く

JAFS地区会長会が1月14日、11地区会総勢30名の地区役員らが出席して開かれました。次ページの写真を各地区役員が最近の活動状況、今の思いや課題について発表し、コロナの影響



響により活動がかなり制限される中で、何ができるのか、またどのように会員とつながるのかなどについて、工夫を述べ合いました。悩みを共有して活動に役立てるために「地区会長のネットワーク（グループLINE）」を設けることについても、賛同が得られました。

「10年間のJAFS会員数の推移」について私から説明。会員の3分の2が60歳以上となり、高齢化が顕著となっている現状や、これに伴う問題点を説明し、課題の共有を図りました。

会に先立ち、米田明正会員拡大・地域活推進委員長が「今回は3年ぶりの開催となりました。今年中にコロナ禍

楠木正成に思いはせ 雪の金剛山に行く



建国記念日の2月11日、大阪の富田林地区会主催で金剛山雪中登山をしました。晴天で山頂の気温は2度。雪は20cm程積もっていましたが、解けて水たまりが出来ていました。登山靴に水が入ってくるような状態で、シャツ一枚でも暑いぐらいでした。

山頂で昼ご飯ですが、人が多すぎて適当な場所がなく、金明水井戸の横でお湯を沸かしてラーメン、みそ汁、お湯割りを作り、皆で歓談しながら楽しみました。なにせ暖かいので、大変ゆつくりとした時間を過ごすことができました。午後1時になると金剛山ライブ中継があるとのことで、カメラ前に集合して記念撮影とライブ出演をし、山頂を出発しました。

参加者は8人で、京都から参加した小学3年生の少年は、しっかりと歩いて

の解消により、活動もしやすくなると思います。各地区において、活動の再開に向けて準備を始めてください」とあいさつ。村上公彦事務局長が「地域

遠慮なく話し分かり合おう

「アジアの仲間」の会始めました

このたび「アジアの仲間」の会を始めました。アジアの人々と直接触れあ

活動の考え方・進め方」について話し、地区会の役割や携わる我々の心構えを新たにしました。

（JAFS理事 渡辺 治彦）

い、遠慮なく率直に話すことで、相互理解を深める機会を作ろうという趣旨

です。日本に住んでいるアジア出身の方たちにそれぞれの歴史、文化、日常生活そして政治経済まで多岐に渡る話題を自由にお話していただきます。参加者の皆さまも話に加わる多方向のラウンドテーブルの形の会を目指しています。

第1回II写真IIは1月21日、JAFS事務局で「ミャンマー」をテーマに、元京都大学アジアアフリカ地域センター非常勤講師で滋賀県に住み、在日30年余りのミャンマー人、ミ

雑貨売りパネル展示 久しぶり市民と交流

西宮市国際交流協会主催の第27回西宮国際交流デーが2月4日、フレンテ西宮で開かれ、JAFS西宮も3年ぶりに参加してブースを出すことができました。コロナ禍後は、昨年12月に第1回「水」コンテスト受賞作とJAFSの活動を紹介するパネル展を西宮市で催したのが活動再開でしたが、市民と交流できる場は久しぶりでした。

JAFSの井戸寄贈のパネルを紹介し、JAFSのアジア雑貨と、特定非営利活動法人アジア女性自立プロジェクトのアジア諸国の物品などを販売しました。西宮地区だけでなく奈良の会員も参加し、盛況な一日となりました。アジアの雑貨は、海外に関心があるご来場の皆さまに毎回好評です。以前と異なる形になるところがあるかもしれませんが、今後も地区活動を展開していきたいと思えます。

（JAFS西宮世話人 平山 隆史）

「外にも福」願って 3年ぶり社員クラブ

2月3日、ほぼ3年ぶりに当会の基幹会員である社員会員31人が、JAFS事務局近くの北京料理店・徐園に集

ヤ氏を招いて、次のようなお話を伺いました。

第1回は「ミャンマー」

「ミャンマーの軍によるクーデターは、もう2年になります。軍は暴力で国を支配し、自分たちの思いのまま政権を握るための手段を選びません。日々罪のない人間を殺し、村を焼き払い、空から戦闘機やヘリコプターで爆弾を落とす行為を繰り返しています。ニュースやメディアにあまり取り上げられていませんが、厳しい状態が続いています。

2021年2月から23年1月までに、軍によって2641人が殺され、1万6591人が逮捕されています。家屋、学校、病院また宗教に関する建物も多く燃やされました。日々避難民が増え続けている現状です。国外避難民は5万人、国内避難民は120万人を超えました。

人権、貧困、教育、医療、食料等あらゆる面でミャンマーは厳しい状況にあります。日本をはじめ国際社会も軍の悪行を野放しにせず、ミャンマー国民に手を差し伸べてほしいと切に思います。一人のミャンマー人として母国の自由と平和を願って、ミャンマーの現状を話せる場を作っていたら感謝しています。様々なご意見やご指摘をいただいた有意義な座談会でした」

（JAFS会員 植村 史子）

い「社員クラブ」が開催されました。今回は創設44年目を迎え、村上公彦事務局長に改めて話を聞きました。

「創設当時と時代もアジアの状況も様変わりしています。当会を支えていただいている会員の皆さまに感謝するとともに、これまで築いてきたネットワークを大切にしましょう。自分のためだけでなく誰かのために働くボランティア活動は、若さの秘訣でもありません。節分にちなんで、内だけでなく外も、鬼ではなく福のある社会を共につくっていきましょう」

後半は、参加者が近況とJAFSへの思いを語り合い、和やかな時間を共に過ごすことができました。

（JAFS理事 上野 孝一）

● 投稿規定 ●

本欄では、国内各地のJAFS会員の皆さんの活動ぶりを紹介しています。誰が、いつ、どこで、どのような趣旨で、どんなことをしたか、などをかみくだいて分かりやすく書き、筆者名と肩書きを添えて、「JAFSプラザ掲載希望」と明記し、メール、郵便、ファクスなどで事務局へお送りください。写真付きを歓迎します。原稿をさらに推敲・編集したうえで掲載させていただきます。

JAFSチャリティイベントカレンダー

2023年春



<お知らせ>

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら各種イベントやセミナーを無理のない範囲で開催していくことにしました。ただし、状況次第では中止・延期の可能性もありますのでご参加される場合は事務所に直接お電話か、JAFSホームページ等でご確認くださいませようお願いします。

月	日	地域	行事名	時間	実施場所	参加費	内容
4月	3日(月)	富田林	アジアフレンドシップ国際基金ゴルフコンペ	8:30 スタート 集合	聖丘カントリー倶楽部 〒584-0091 大阪府富田林市 新堂2345 TEL:0721-24-8331	18,450円 (プレー・昼食・景品・国際基金5千円含む)	アジアフレンドシップ国際基金のためのチャリティゴルフコンペです。*アジアフレンドシップ国際基金とは、JAFSの理念実現を目指して、アジアのネットワーク活動の強化を図るための基金です。 お申込・お問い合わせ: 西田 090-8143-9392 法花090-5369-8315 毛利090-3713-0427
	8日(土)	西区	JAFS地区会長・世話人会&新入会員ウェルカムパーティ	10:30 ~ 14:00	中之島センタービルB1階 カフェテリア NAKAMOS dining 大阪市北区中之島6丁目2-27 (京阪中之島駅より徒歩4分または市バス船津橋よりすぐ)	3,500円 (ビュッフェ・飲み放題)	各地区会の会長・世話人が一堂に会し、各地区の近況と新年度の活動計画について報告するとともに会員拡大の新たな展開について話し合います。また1年半ぶりに入新会員ウェルカムパーティ(12:00~)も開催し、12:30から交流会を行いお互いの親睦を深めます。 窓口: 事務局 柿島 090-1021-6834
	11日(火)	西区	第400回JAFSぞうすいの会	12:00 ~ 13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近のアジアの現況について、スタッフまたはアジアからの留学生が報告します。美味しいぞうすいを食べながらアジア現地への井戸支援を行います。
	11日(火)	西区	ワンコインセミナー「マジックも楽しめる!色にまつわるいろいろな話」(皆が驚く初耳学) その2、色の心理	15:00 ~ 15:40	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師: マジック流色彩教材クリエイター 濱崎 佳尚 目の前30cm程の至近距離で繰り広げられる色彩変化などのテーブルマジックを楽しみながら、日常生活や仕事に役立つ色彩心理の効果をお聞きします。 窓口: 鳥居 090-5663-6123
	11日(火)	西区	ワンコインセミナー「第3回 おもしろ大阪学」	16:00 ~ 17:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	*講師: 大阪歴史案内人 沖本 然生 近代の土木工事として、淀川改修から避難の川として失われていった堀川、その原因を解説します。また海岸部の変化と共に現代の埋め立て状態を解説します。窓口: 鳥居 090-5663-6123
	13日(木)	交野市	第19回JAFS道楽の会ウォーキング	10:25 ~ 16:30	10:25京阪交野線私市駅改札口集合	1000円	ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。今回はささいな植物園からほした園地(星のプランク)を散策します。 *申込: 石原 090-1134-3085
	14日(金)	生駒市	アイビー歌声サロン	12:30 ~ 14:00	生駒市たけまるホール 小ホール	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 窓口: 鳥居 090-5663-6123
	15日(土)	西区	【アジアの仲間】第3回キルギスの珍しい習慣と食文化	14:00 ~ 15:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円	在日キルギス人であるスジャン・カリナさんから、中央アジアに位置するキルギスの珍しい誘拐結婚などの習慣や美味しい麺料理などについてお話しいただきます。 要予約 窓口: 事務局 佐藤 06-6444-0587
	16日(日)	交野市	ドリアンプランニング・チャリティバザール&ステージ IN マナリ村 (大阪府交野市私市3059)	10:00 ~ 15:00 (予定)	*京阪交野線「私市駅」より京阪バスまたは奈良交通バス「磐船神社前」下車 徒歩10分 *近鉄「生駒駅」より奈良交通バス 北田原方面行 終点「北田原」下車 徒歩10分	無料	ドリアンプランニング主催 JAFS後援 多彩なステージとチャリティバザードで楽しい一日をお過ごしください。費用の一部はインドの子ども支援に充てさせていただきます。尚、ステージ出演者30分・バザー出店者各1,000円で募集中です。 窓口: 鳥居 090-5663-6123
	22日(土)	高槻市	JAFS高槻 第9回アジア・ホームパーティ クラリネット・アコーディオンと唄・三線によるチャリティコンサート	12:00 ~ 14:00	クロスバル高槻(高槻市立総合市民交流センター)3階音の工房 JR高槻駅南口より徒歩2分	一般1800円 会員1500円	インドのコスモニケタン学園の支援を目的に、クラリネット・アコーディオン奏者 森 健太郎さんと唄・三線の西山朝子さんによる楽しいチャリティコンサートを開催します。 窓口: 事務局 柿島 090-1021-6834
	23日(日)	中央区	つなぐ文化・ギータンジャリ友の会インド舞踊へのいざないパート50	17:15 ~ 19:45	ドーンセンター1階 パフォーマンスペース (大阪市中央区大手前町1-3-49) 京阪電車・大阪メトロ天満橋駅より徒歩6分	前売2500円 当日3000円	ギータンジャリ友の会主催・アジア協会アジア友の会後援 第1部祝祭 祝儀舞 重要無形民俗文化財 北上滑田鬼剣舞 第2部インド舞踊(思い出の作品集より) 定員80名(要予約) 窓口: 天野 090-4288-7726 櫻井 090-3994-4525 吉田 090-5897-1400
	29日(祝土)	大東市	JAFSチャリティバザール&ステージ ※雨天の場合は、翌日30日(日)に開催します。	10:00 ~ 16:00	JR住道駅 北側デッキ広場	無料	楽しく多彩なステージを楽しみながら、美味しい料理を味わい、フリーマーケットで買い物を楽しむことでアジアへ井戸支援を行います。 窓口: 鳥居 090-5663-6123
5月	5日(祝金)	宝塚市	中山寺こどもフェスティバル	9:30 ~ 15:30	中山寺(宝塚市中山寺 2-11-1) 阪急中山親善駅北出口より徒歩3分	無料	安産祈願・子授祈願で有名な宝塚市の中山寺で開催のこどもフェスティバルに3年ぶりに出店します。楽しいヨーヨーやハルーン遊びをはじめ、美味しいうどん、タコせん、フランクフルト等の他、水カメ運びなどのアジア体験を楽しみながらアジアのこども支援を行います。 窓口: 事務局 柿島 090-1021-6834
	9日(火)	西区	第401回JAFSぞうすいの会	12:00 ~ 13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近のアジアの現況について、スタッフまたはアジアからの留学生が報告します。美味しいぞうすいを食べながらアジア現地への井戸支援を行います。
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「マジックも楽しめる!色にまつわるいろいろな話」(皆が驚く初耳学) その3、色の組み合わせ	15:00 ~ 15:40	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師: マジック流色彩教材クリエイター 濱崎 佳尚 目の前30cm程の至近距離で繰り広げられる色彩変化などのテーブルマジックを楽しみながら、日常生活や仕事において2色以上の色を効果的に組み合わせる配色方法についてお聞きします。 窓口: 鳥居 090-5663-6123
	11日(木)	未定	第20回JAFS道楽の会ウォーキング	未定	未定	1000円	ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 *お問い合わせ・申込: 石原 090-1134-3085
	13日(土)	西区	第4期JAFSアジア市民大学 第8回 アジア全般「アフリカからアジア・日本をみる」	14:00 ~ 16:30	肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	一般2400円 会員2000円	アフリカのマリ出身で京都精華大学前学長のウスビ・サコ氏がアフリカ人から見たアジア、日本について語り、相互理解と共生のために何が必要かを考えます。 窓口: 事務局 柿島 090-1021-6834

19日(金)	生駒市	アイビー歌声サロン	15:00 ~ 16:30	生駒市たけまるホール 多目的室	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 窓口: 鳥居 090-5663-6123	
21日(日)	交野市	ドリアンプランニング・チャリティバザール&ステージ IN マナリ村 (大阪府交野市私市3059)	10:00 ~ 15:00 (予定)	*京阪交野線「私市駅」より京阪バスまたは奈良交通バス「磐船神社前」下車 徒歩10分 *近鉄「生駒駅」より奈良交通バス 北田原方面行 終点「北田原」下車 徒歩10分	無料	ドリアンプランニング主催 JAFS後援 多彩なステージとチャリティバザードで楽しい一日をお過ごしください。費用の一部はインドの子ども支援に充てさせていただきます。尚、ステージ出演者30分・バザー出店者各1,000円で募集中です。 窓口: 鳥居 090-5663-6123	
27日(土)	京都	なにわ西チャリティウォーク 洛北散歩「家康開基の圓光寺等の名刹・神社を訪ねる」	13:00 ~ 16:30	13:00 叡山電鉄出町柳駅改札口前集合13:07発の電車で乗車予定。一乗寺下車。八大神社、圓光寺、曼珠院跡、龍森神社散策 16:30頃 修学院駅解散	2,500円	圓光寺は、徳川家康が1601年(慶長6年)に教学の発展を図るために建立した学校で、当初、伏見に建立しましたが1667年(寛文7年)に現在の地に移転されました。今回は、圓光寺はじめ京都洛北の隠れた名刹・神社を訪ねます。お申込・お問い合わせは: なにわ西地区 風早: 090-3944-1582 mail: bfaov103@cwvzqa.ne.jp、伊藤: 090-2410-5529 mail: ito.masaru320@gmail.com	
28日(日)	枚方市	アジア チャリティサロン&サックスライブ in HIRAKATA JAFS海外活動報告&サックス演奏	14:30 ~ 16:30	枚方市立老人福祉センター 楽寿荘(枚方市北中振2-3-44) 京阪光善寺駅より徒歩5分	800円 (ナールの水・環境支援金含む)	JAFS枚方地区会と寝屋川地区会の共同開催。 第1部: JAFS熱田副事務局長が語る「命の水・安全な水から地域を潤す活動を通してみるアジア社会」 第2部 フロサックス奏者 清水 利香さん ジャズのタバ 窓口: 枚方地区世話人 天野 090-4288-7726	
6月	8日(木)	未定	第21回JAFS道楽の会ウォーキング	未定	未定	1000円	ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 *お問い合わせ・申込: 石原 090-1134-3085
	10日(土)	西区	第12回定期社員総会	14:00 ~ 16:00	大阪科学技術センター7階701号室(大阪市西区靱本町1-8-4) 大阪メトロ四ツ橋線本町駅より徒歩5分	無料	年に一度の定期社員総会を開催します。参加対象は議決権のあるJAFS社員ですが、オブザーバーとして一般会員も参加いただけます。
	10日(土)	西区	第12回定期社員総会・懇親会	17:00 ~ 19:00	レストラン・アリスロード(大阪府中央区瓦町1-4-9 井門瓦町ビルB1) 大阪メトロ御堂筋線本町駅2出口より徒歩3分	4000円 (ビュッフェ・飲み放題)	定期社員総会後の懇親会を総会会場より徒歩5分のレストラン・アリスロードにて開催します。皆様の交流・親睦の機会としてどなたでもご参加いただけますのでぜひお越しください。 窓口: 事務局 柿島 090-1021-6834 mail:kakishima@jafs.or.jp
	13日(火)	西区	第402回JAFSぞうすいの会	12:00 ~ 13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円	最近のアジアの現況について、スタッフまたはアジアからの留学生が報告します。美味しいぞうすいを食べながらアジア現地への井戸支援を行います。
	18日(日)	交野市	ドリアンプランニング・チャリティバザール&ステージ IN マナリ村 (大阪府交野市私市3059)	10:00 ~ 15:00 (予定)	*京阪交野線「私市駅」より京阪バスまたは奈良交通バス「磐船神社前」下車 徒歩10分 *近鉄「生駒駅」より奈良交通バス 北田原方面行 終点「北田原」下車 徒歩10分	無料	ドリアンプランニング主催 JAFS後援 多彩なステージとチャリティバザードで楽しい一日をお過ごしください。費用の一部はインドの子ども支援に充てさせていただきます。尚、ステージ出演者30分・バザー出店者各1,000円で募集中です。 窓口: 鳥居 090-5663-6123
	24日(土)	平野区	JAFSなにわ南地区会主催 ノアノアフesta ノアノアカフェ講演会&パーティ	11:00 ~ 14:00 (予定)	〒547-0012大阪府平野区長吉六反3-1-32 アークショップノアノア (大阪メトロ谷町線長原駅より徒歩約8分)	1500円 (昼食付)	昨年、就労継続支援B型事業所アークショップノアノアにカフェがオープンされ、なにわ南地区の活動拠点として活動が行われることになりました。今回も経験豊富な講師による心が和むお話しと楽しいアトラクションで心豊かなときを過ごしましょう。 窓口: 事務局 柿島 090-1021-6834

●緑とふれあう農園の作業日

<場所> JR星田駅より徒歩8分 4/8(土)、4/22(土)、5/13(土)、5/27(土) 午前8時~11時
6/10(土)、6/17(土)、7/8(土)、7/22(土)、8/12(土)、8/26(土) 午前7時~10時

<内容> 季節の野菜を植えて育てます。緑を育てる楽しさを共に分かち合いましょ! はじめて参加される方は事前連絡ください。
ブログをご覧ください。blog.goo.ne.jp/midori-hureai

♥「もったいない」のきもちを社会貢献へ♥

JAFSでは以下のものを集めています。ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 書き損じハガキ、切手(未使用・記念切手可)、外貨コイン: 事務局の通信や、JAFSの活動に使わせていただきます。
- 服、アクセサリ、カバン等: 買ったけど数回しか使っていない。でも捨てられないものありませんか。

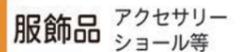
お問い合わせ 06-6444-0587 JAFS事務局

断捨離 × 国際協力

もったいないを力に!

寄付いただいた物品は、チャリティーショップ KANAU で販売。

その売上がアジア協会の支援活動に役立てられます。



※冬服は9月以降にお願いします

問合せ・受付先 ▼ 火曜定休 10:00~18:00 JR 寺田町駅より徒歩 10分

KANAU



〒544-0025
大阪市生野区生野東 2-2-15



夢かなうチャリティーショップ 090-4161-0236 (青木)

新入会員ご紹介

ご入会感謝申し上げます。(敬称略・50音順)

2022年12月1日～2023年2月28日

- 社員会員
小野元裕／丸尾裕之／三本木一夫／山口克隆
- 賛助会員
江本康子／黒川将吾／高道正能／田中恭子／兵頭里美／日本基督教団松山教会
- 維持会員
岳山修／唐木裕司／河野直子／武藤由美子

会費納入者、寄付・物品協力者

温かいご支援ありがとうございます。(敬称略・50音順)

2022年12月1日～2023年2月28日

なお夏季・冬季募金へご協力くださった方につきましては、1年後の夏季・冬季に別紙で報告させていただきます。

- 社員会員
明見勝好／伊藤誠／岡田一／岡田光浩／三本木一夫／白方誠彌／高岸泰子／端無勝／藪内貢子／湯川剛
- 維持会費
阿部恩／家本英里／石井琢也／石田美咲／稲垣三千穂／稲富美穂／井上賢
- 賛助会費
赤石尚子／浅野直人／有山英里／石井奈那／井上松月／井上美穂／井上順子／今枝ゆかり／入江保夫／打越道夫／榎本忠宣／江本康子／太田愛子／大野篤一郎／岡村房子／小野英俊／貝柄徹／垣錫祐介／勝原慶子／加藤紀子／加藤昌彦／加藤美樹／龜谷真佐美／川口勝三／川崎雅子／川崎隆二／川端香織／河村徳次／川村幸正／河本朋子／北川健治／木村有香／木元典子／黒川将吾／小出幸代／小島学／小谷正登／小林照子／小林陽子／佐伯裕子／坂手悦
- 賛助会費
己彦／長浜真美／奈良友の会友情係／長谷川雅子／林和子／松川一人／松田静雄／六車勝三／森崎律子／山澤寛子／渡邊瑠璃子
- フィリピン台風被災者支援寄付
芦澤緑／熱田典子／雨森清忠／栗野アツ子／石橋敏江／岩田悦子／岩田芳晴／岩本郁子／円徳寺／大分明星幼稚園／シオン保育園／夙川教会日曜学校／庄子幸子／横田順正／正法地由紀子／勝楽寺／青木智成／瀬尻芳子／高宮寿子／田口裕子／谷阪洋子／地本英子／戸田恭子／鳥居洋一／中嶋啓子／中島綾／中谷誠／中塚鞠子／中野為夫・桂子／中村正憲／那須トラビスト修道院／西川龍夫／西原智珂子／西村美和子／丹羽和子／島山ひろみ／羽田孝彦／浜口啓子／林越洋子／原田和幸／原田ひろみ／平井静／福原智恵子／藤原克彦／藤原正昭／藤原増子／麓忠司／古谷佳世子／堀口賢司／松浦有理子／松野光伸／松本勝正／溝口清子／宮古聖ヤコブ教会／妙音寺／村口ミヨ子／村田恭仁子／森田康代／安井映似／山口かをる／山下玉英／山田善清／山野和子／友愛幼稚園(株)ユニバーサルインシユアランス／横井明子／吉田幸子／吉田正二／吉村治子／脇家崇夫
- 法人賛助会費
関西ナショナル・トラスト協会
- 里親会費
赤石尚子／明見勝好／荒木美智／幾谷眞規子／池上正子／石原基義／岩田史子／梅本仁美／大畑直之／大林昌子／大平英明・さゆり・こはる・ほのか／小笠原和久／小笠原喜照／海津加代子／勝又厚／加藤美樹／チャリティシヨップMANU／印牧武人／川端香織／北畑哲治／木村千鶴／木村征代／小谷正登／小林剛／今野裕章／佐伯裕子／佐藤雅美／左野菜穂子／謝秀連／島村和佳奈／下村運実／新保崇浩／杉野佳代／住友藍／関口淳／瀬田敦子チャリティーコンサート／田中和子／谷口ちゑ子／谷澤大介／谷野麻実／谷村信彦／対馬龍祐／筒井みゆき／寺西哲志
- 集めるキャンペーン
○未使用切手・書き損じ葉書
浅沼暁子／乾聖陽／草加節男／田口徳子／長谷川千衣
- 大阪マラソン寄付(水支援)
熱田昭子／熱田加里菜／熱田Purdie聖子／熱田典子／天野紀／新井希玖子／荒川雄毅／井上祐作／上田眞弓／上野孝一／梅田真紀子／大島直樹／大森春菜／岡田光浩／小河健一郎／小野良久／小原純子／柿島裕／笠谷正博／金滝尚子／河合佳彦／川田祐志／河野優佳／河野幹雄／北村彰代／木下歩／暮部恵子／肥田勇也／小出美香／齊藤かおる／櫻井紘哉／佐藤英美／重本恵美子／重本裕太／柴原真佐子／メ木泰輔／杉原貴／関口瑞穂／千菊道子／高尾佳可／高野和成／高橋剛／滝沢友吾／瀧浪千夏／田口徳子／長克宣／堂野一成／富原沙奈絵／豊留かおり／中川裕貴／長野純樹／西田航大／西山文人／布川富生／布川由美子／布川理紗子／原のり子／東知佳／廣田真利子／福澤邦治／細谷詩子／法花敏郎／松村昇／松本眞弓／マツララジャン／水田寛／村上公彦／毛利吉男／又川朱里／山口隆／山本千佳／山本宏昭／吉田幸子／吉田俊朗／吉田奈美子／米田明正／渡辺治彦

- 子／笹原由美子／澤智子／謝秀連／設楽宏幸／島田真知子／下久保恵子／白山礼子／新羅和子／聖母奉獻修道会／関川温子／高橋幹雄／高道正能／田口博國／竹内泰子／竹原庸起子／田中佐苗／田中通成／谷口倫子／田宮節子／日野西光尊／塚本善弘／月城文子／辻昌子／土屋りつ子／出口豊子／寺浦不二子／友成陽子／島井章司／中岡浩司／中川裕己彦／中島節子／中西貴子／中西美代子／中西佑介／永野英子／中村恵美子／中村隆／仁井恭子／幸田富紀子／西田京子／新田留美子／八田磨／原のり子／春木眞巳／東野榮子／日高雪子／兵頭里美／平岡由紀子／福岡誠之／藤木茂／藤田智映子／藤原克彦／堀米弘子／本多隆久／牧和矢／松本和子／松山教会／眞鍋ミサ子／三里健一／溝口清子／森垣智恵子／矢賀繁之／八木澄子／柳本京子／山下玉英／吉野基平／霊松寺
- 団体会費
関西ナショナル・トラスト協会
- 法人賛助会費
(株)OSGコーポレーション
- 一般寄付
熱田親憲／安藤幹雄／石田武／井上雅貴／大久保洋子／太田宣子／オリーブの木／甲斐清和高等学校／兼松利木雄／川辺比呂子／Kostelansky／柴村壽子／後藤理紗／櫻井紘哉／笹川忠士／佐藤文昭／佐藤正明／設楽宏幸／篠原勝弘／下谷泰慎／仙台北教会／仙台北教会／ソフトバンクつながる募金／武本和子／館野晶光／田中敏博／チャリティシヨップKANAU／辻正矩／鳥居建十／中野迪代／西田貞之／畑中義雄／波多野久美枝／端無勝／PHP思いやり運動／プール幼稚園／福本幹雄／藤原正昭／坊上信子／法心寺／横坂淳一／眞砂哲志／松本和也／宮野谷篤／村上公彦／興勝寺森岡一裕／森本榮三／柳井一朗／山澤寛子／山下翔平／湯川剛／横瀬雅人／和田みな子
- 井戸建設積立
一瀬由起子(株)H²Oサンタ／JAF Sぞうすいの会／西宮友の会／ゆりかご幼稚園
- 井戸指定
○スリランカ
(株)大松
- ネパール
(株)エムビ／ギャラリーいろはに／中村芳喜／堀朗生
- アジア・ネットワーク奨学会費
上野孝一／村上公彦／吉田俊朗
- アジア・フレンドシップ夢基金
JAF S歩く会／福岡名津子
- アジア・子ども支援
アジアンチャリティフェスティバル実行委員会／竹下晋平／大石みどり／松尾慶治
- インド・HIV子どもと家族支援
戸田恭子／苗村登美子
- インド・サトウキビプロジェクト支援
高岸弥生／畑中義雄
- スリランカ植林指定
岡本朋子
- スリランカ指定寄付
石原基義／大山行雄／島山ひろみ
- 学校建設支援
○ラオス寮建設支援
高瀬稔彦
- ネパール学校建設支援
一瀬由起子／末永雅典／東代清隆／福永有花／横田美智子／饒平名知幸

第37回「土と水と緑の学校」ボランティア募集！！

「土と水と緑の学校」は、毎年夏に和歌山県新宮市で開催している自然学校です。参加者は小学3年生～中学3年生の子ども約40名。期間中の食事準備や運営全般などをお手伝いくださるボランティアを募集します。

- 期間：8月4日(金)～8日(火)(準備8月2・3日、後片付け8月9日)
- 募集人数：約50名
- 参加資格：18歳以上、期間中2泊3日以上参加できる方、運転ができる方大歓迎
- 参加費用：1泊当たり会員500円(食事、宿泊、温泉入浴、保険代含む)、未会員1,000円
- 備考：現地までの交通費は自己負担

*申込・問い合わせ：JAF S事務局 土水係(柿島)

tel 06-6444-0587 email kakishima@jafs.or.jp

災害対応チームメンバー募集！！

JAF Sの主な活動に災害地の罹災者支援活動があります。災害が起きたときに緊急支援対応できる「災害対応チーム」のメンバーを募集します。元自衛官、医療従事者の方をはじめ、トラックの運転、炊き出し経験有など、JAF Sの活動に参加くださる方、JAF S事務局(熱田)までご一報ください。

- 地球幸せ募金
小代利子
- バンクグラデシユ指定
宮古聖ヤコブ教会
- ネパール・バイオガス指定
設楽宏幸
- ネパール・ピトゥリ支援会費
大谷英一／大谷臣子／小川幸子／倉光和之／小松朱美／前田美津代／前田豊／宮本博幸
- ネパール栄養改善教育支援
東代清隆
- ネパール指定
東代清隆
- 東日本大震災復興支援
元橋亮治
- フレンドシップ基金
旅は道連れ会
- フレンドシップ国際基金
浅井英男／(株)カステロ／阪口和秀／時事懇談会／時事懇談会／芝野照久／杉山知之／西田貞之／橋本隆／法花敏郎／前祥淑／前祥正義／松本督／山西清芳
- 助成金
○ネパール環境事業
(公社)国土緑化推進機構
- 43周年応援募金
安中二葉幼稚園／伊藤工リサ／上野道善／大岩典代／喜多榮子／坪田秋成／(株)デュアルエデュケーション／中川裕

- 賛助会員
江本康子／黒川将吾／高道正能／田中恭子／兵頭里美／日本基督教団松山教会
- フィリピン台風被災者支援寄付
芦澤緑／熱田典子／雨森清忠／栗野アツ子／石橋敏江／岩田悦子／岩田芳晴／岩本郁子／円徳寺／大分明星幼稚園／シオン保育園／夙川教会日曜学校／庄子幸子／横田順正／正法地由紀子／勝楽寺／青木智成／瀬尻芳子／高宮寿子／田口裕子／谷阪洋子／地本英子／戸田恭子／鳥居洋一／中嶋啓子／中島綾／中谷誠／中塚鞠子／中野為夫・桂子／中村正憲／那須トラビスト修道院／西川龍夫／西原智珂子／西村美和子／丹羽和子／島山ひろみ／羽田孝彦／浜口啓子／林越洋子／原田和幸／原田ひろみ／平井静／福原智恵子／藤原克彦／藤原正昭／藤原増子／麓忠司／古谷佳世子／堀口賢司／松浦有理子／松野光伸／松本勝正／溝口清子／宮古聖ヤコブ教会／妙音寺／村口ミヨ子／村田恭仁子／森田康代／安井映似／山口かをる／山下玉英／山田善清／山野和子／友愛幼稚園(株)ユニバーサルインシユアランス／横井明子／吉田幸子／吉田正二／吉村治子／脇家崇夫
- 新型コロナウイルス緊急募金
海星学園如己の会／中野秀治／吉江久子

- 災害等罹災者緊急支援募金
池田直樹／元気に100歳クラブ／中須賀敬子／西宮教会／法花敏郎／三木信子
- 集めるキャンペーン
○未使用切手・書き損じ葉書
浅沼暁子／乾聖陽／草加節男／田口徳子／長谷川千衣
- 外国コイン
木下直美
- 物品寄贈
高橋美也子／田村康子／東代清隆／渡辺治彦

アニメに憧れてお笑いの街へ

私はインドネシアのバンドンで1992年に生まれ、子どもの頃から、日本のアニメ、特にドラえもんやドラゴンボールZが大好きで、日本に憧れていました。2008年、高校2年生のとき、インドネシアを日本に紹介する

留学生たちと日本との架け橋になりたい

「ありがとうインドネシア、テリマカシジャパン」というキヤンペーンがインドネシア外務省によって代々木公園で2週間行われ、私は応募として参加しました。日本はアニメで見た想像通りの夢のような世界で、大好きになりました。

を賞できませんでした。大学院進学も考えていましたが、経済的な理由などで、卒業後は、インターンとして半年働いていた森興産(株)に入社し、現在3年目、来日して7年になります。大阪を選んだ理由は、出身地のバンドン同様、大阪がお笑い芸人を多数輩出している街で、性格的にも

能力テスト(BJT)の普及・促進業務を担当しています。

なくしてほしい宗教での偏見

実際に住んでみると、外国人だからという理由で受け入れてもらえないことが多々あります。特に留学生のときは、クレジットカード、銀行口座の開設や、アパートを借りるのに日本人の保証人がいないと難しいなどの生活の壁を感じました。また、日本語には「大丈夫」などのあいまいな表現が多く、ニュアンスがわからなくて困りました。よく言われる「あれ」も何を指しているかわかなくて苦労しました。

一方、インドネシアの行政手続きは不明確でわかりづらいのに対して、日本はよく管理されていてわかりやすいのは、優れた点だと思いました。インドネシアはイスラム教の国というイメージが強いのでしょうか。日本の皆さんへの要望としては、仕事の能力と関係なくイスラム教という理由だけで採用しないといった偏見はなくしてほしいと思います。

家族がインドネシアにいたので、日本とインドネシアの架け橋となる仕事をしたい、両国のより良い関係づくりのお役に立ちたいと願っています。

留学生向けに、日本の企業への就職について説明会を開催。左端がドワイ・アグン・ヌグラハさん。他のアジア人スタッフとともに

活躍するアジア



ドワイ・アグン・ヌグラハさん (インドネシア)

明るいです。

定着を支援するサービス提供

現在は、森興産戦略企画室の副室長として新規事業の企画運営をするともに、国際人財開発事業部でもインドネシア圏担当をしています。森興産では、世界約100カ国の外国籍が登録



トルコ地震募金にご協力を

2月6日にトルコとシリアを襲った強い地震。甚大な被害により復旧作業が困難を極める中、トルコの脆弱な人々の暮らしを守る支援を大阪トルコ文化センターとの連携で実施します。目標金額300万円。ご協力をお願いします。【郵便振替00960-6-10835 アジア協会アジア友の会】

編集後記

ま さか1年たっても戦争が終わらないなんて誰が想像したろうか。一日として「ウクライナ」という言葉を聞かない日はない。日本に春はきたが、ウクライナの人々に本当の春が来る日が1日も早いことを祈る。(和)

高 騰する電気代節約のため、夜はテレビや暖房を止めて早寝。寝床で東野圭吾著「希望の糸」を読んでハマりました。松本清張の再来とも言えはいいでしょうか。豊かそうな現代日本にも煉獄はある、としみじみ。(黒)

ト ルコ・シリア大地震の被災は想像以上に厳しい状況で心が痛みます。東日本大震災から12年。NHKで南海トラフ特集番組があり、大阪に事務所があるJAFSとして危機感を持ち対策する必要を痛感しました。(裕)

フ アイト！久々に気持ちが高揚した大阪マラソン。

皆 様の熱いご支援ありがとうございました。運動を兼ね、京都府木津川市の岩船寺に行ってきました。暖かくてよかったです。皆さんも健康に気を付けて、少しの運動といろいろな人

環境コラム

マンション建設と住環境

説明会に参加してみると、皆が建設中止ではなく設計見直しの意見でしたが、マンション北側の家の人が多く発言していました。元のグラウンドの位置に5階建てが建つので、日照が遮られ、マンションから丸見えになり、ビル風が心配など、私なんかより切実な、生活に実害をもたらす心配事が多々。迫力ある発言です。白熱のあまり、同じ北側の住民間でも「お前はよそものだろが」と、20数年住む人に向けて声が飛ぶ始末。

同じく20数年住み2筋隔てた家の私が、景観が、雰囲気、小学校の定員が…などと発言すると、よそもの呑気な意見、と厳しい視線が投げられるかも、と躊躇しているうちに時間切れ。結局、後でまだ意見がある人は郵送してください、と希望者に渡された用紙に、説明会後に記入して提出しました。隣接せずとも、広範な地域社会への影響にも意見があるということ、他の住民と共有できなかったことに後悔を抱きつつ。でも事業主には伝えられてよかった、と思いつつ。

4月から地盤工事が始まり、来年には建設着工の計画ですが、私も地域住民として、今後も可能な限り説明会に参加し、マンション建設の行く末を見守りたいと思います。建設後にマンション住民と元からの住民が共に心地よく暮らせるように。(JAFSスタッフ 川本 裕子)

わが家の近くに、京都市内では稀という大規模マンションの建設計画が起きました。100m×150mの土地に5階建て406戸。田畑も多少残るのかな地で、戸建てが多く、マンションはあっても4階程度の住環境です。よりによってここ？と思いつつ、「土地利用の調整に係るまちづくりに関する条例」に基づく住民説明会が開催されたので参加してみました。環境に絡む住民説明会は、市の指定ごみ袋有料化の際と、近所の大学の排水に基準を超える金属が含まれていた際に続いて3回目ですが、これまでに最も当事者に近い立場での参加です。事前に、建設計画への意見書も、家族で相談しながら出しました。

元は3階建ての国の施設とグラウンドがあった跡地。わが家は直に隣接してはいないものの、小さな通りを2本隔てた所に位置し、5階建てが建つと、屋根裏の窓からぎりぎり見えていた五山の送り火が隠れて見えなくなってしまいます。都市計画法上は適法で、限度ぎりぎりの建ぺい率と容積率のようですが、広範囲にそびえ立つ壁で地域の景観も大きく変わり、人口密集でのんびり穏やかな雰囲気がくずれ、1学年2クラスで全校300人に満たないこじんまりした小学校が急に膨れ上がる、なども心配です。せめて3階建てにして、周囲に緑地を広く設けてほしいと思います。

入会・寄付のご案内

会員となって継続的に支援くださることで、安定した活動計画ができます。ご協力をお願いいたします。

- A. 維持会費 年額1口 12,000円 (月額1,000円)
- B. 賛助会費 年額1口 6,000円 (月額600円=振込手数料含む)
- C. ジュニア会費 (高校生まで) 年額1口 1,000円
- D. 団体会費 年額1口 20,000円
- E. 法人賛助会費 年額1口 50,000円

会費・寄付の振り込み先

三菱UFJ銀行中之島支店 普通1007011 または 楽天銀行リズム支店(209) 普通7006892 【口座名 シャ) アジア協会アジア友の会】



▲ 2月26日に開かれた大阪マラソン
2023に参加したJAFSのチャリ
ティランナーたち。スタート前にJAFSの応援団とともに士気を高めた。大阪市の大阪府庁前。18ページに記事

▲ 表紙の写真 JAFS会員が寄贈して
完成した井戸から水を飲む少女。フィリ
ピン、ヌエバエシハ州ジェネラルマメル
トナティビダード町マナログ村。12ページ
下に記事「井戸ができた村」



募金にご協力をお願いします

アジアの安全な飲料水がない地域で
貧困に苦しむ人たちを支援する活動に使われます

郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会

編集・発行：公益社団法人 アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階

☎ 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581 E-mail asia@jafs.or.jp

URL: <https://jafs.or.jp> Facebook: <https://www.facebook.com/JAFS.NGO/>

2023年4月 153号 発行人：篠原勝弘 編集人：村上公彦

広報企画委員長：法花敏郎

編集アドバイザー：松本 督、黒沢雅善

編集スタッフ：熱田典子、大本和子、柿島 裕、金井英夫

川本裕子

印刷製本：あさひ高速印刷株式会社



Accountability Self-Check 2021



HPもご覧ください